CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 （2010年ver.1）

広島赤十字・原爆病院

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配　慮　項　目	評価点	重み係数	内　訳								
■1.「地球温暖化対策」の推進											
1.1　建物の熱負荷抑制											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください 屋根については外断熱とし、外壁およびピロティ上部等の断熱性能を十分に上げることで室内への熱の侵入抑制し、室内環境に配慮している。	3.0	0.10	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能
	3.0	0.18								
	3.0	0.72	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制				
小計	3.0	0.21								
1.2　自然エネルギーの利用											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください 広く確保した各病室の窓をベッド高さに合わせ患者さんの快適な居住環境を提供している。又、中庭上部に集光装置を設け、共用部を自然採光を取り込む配慮を行っている。	4.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用	2.1	自然ｴﾈﾙｷﾞｰの直接利用		
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用	2.2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰの変換利用		
小計	3.5	0.10								
1.3　設備システムの高効率化											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 節水型衛生機器、LED照明等高効率の設備を採用することにより、ERR(一次消費エネルギー低減率）は18.4%としている。	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化				
小計	4.0	0.15								
1.4　設備システムの効率的運用											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください 各設備において年間を通じての排出熱量、又は削減熱量をモニタリング可能な機器を選定している。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング		
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制		
小計	3.0	0.10								
1.5　資源・マテリアル対策											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 構造躯体において鉄骨強度を490N/mm2を採用している。又、非構造躯体のリサイクル材として杭安定液の再利用材を使用、外構舗装材の路床については再生砕石を使用している。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水		
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利システム導入の有無
	3.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減		
	3.0	0.20	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用		
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
	4.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材		
	3.0	0.20	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		
小計	3.2	0.30								
1.6　ライフサイクルCO2排出率											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください ライフサイクルCO2排出率を標準より約19%抑制している。	4.4	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮				
小計	4.4	0.13								
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	**3.5**	**0.72**								
■2.「ヒートアイランド対策」の推進											
2.1　温熱環境の向上											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。 先行工事において既設の原爆遺構を別敷地に移設し、歴史と緑を感じられるメモリアルパークとして整備を行っている。	3.0	0.49	Q3	室外環境（敷地内）	1	生物環境の保全と創出				
	3.0	0.24	Q3	室外環境（敷地内）	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上		
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善		
小計	3.0	0.97								
2.2　交通負荷抑制											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。 先行工事において立体駐車場を整備し、工事中の駐車場確保を行っている。加えて整備事業完成時には、市条例の基準を大きく上回る平面駐車場、駐輪場を確保する。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制
小計	5.0	0.03								
2.ﾋｰﾄｱｲﾗﾝﾄﾞ対策」の推進の評価	**3.1**	**0.18**								
■3.「長寿命化対策」の推進											
3.1　耐用性の向上											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。 免震構造を採用し、利用者の安全及び災害時でも、大きな損傷なく医療機能が継続して提供できるよう配慮している。	5.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性
	5.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免進・制振性能
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔
	3.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔
小計	4.2	0.70								
3.2　設備の更新性											
（コメント）　※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。 設備配管・配線のメンテナンス・更新用に天井・壁に適宜点検ハッチを設置している。又、特別高圧室及び地下免震ピットにマシンハッチを設置し、直接外部よりメンテナンスが行えるよう配慮している。	2.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性
	2.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース
小計	2.7	0.30								
**3.「長寿命化対策」の推進の平均点（上記2項目）	**3.7**	**0.10**								
**■重点項目の総平均（上記3項目）	**3.4**									